

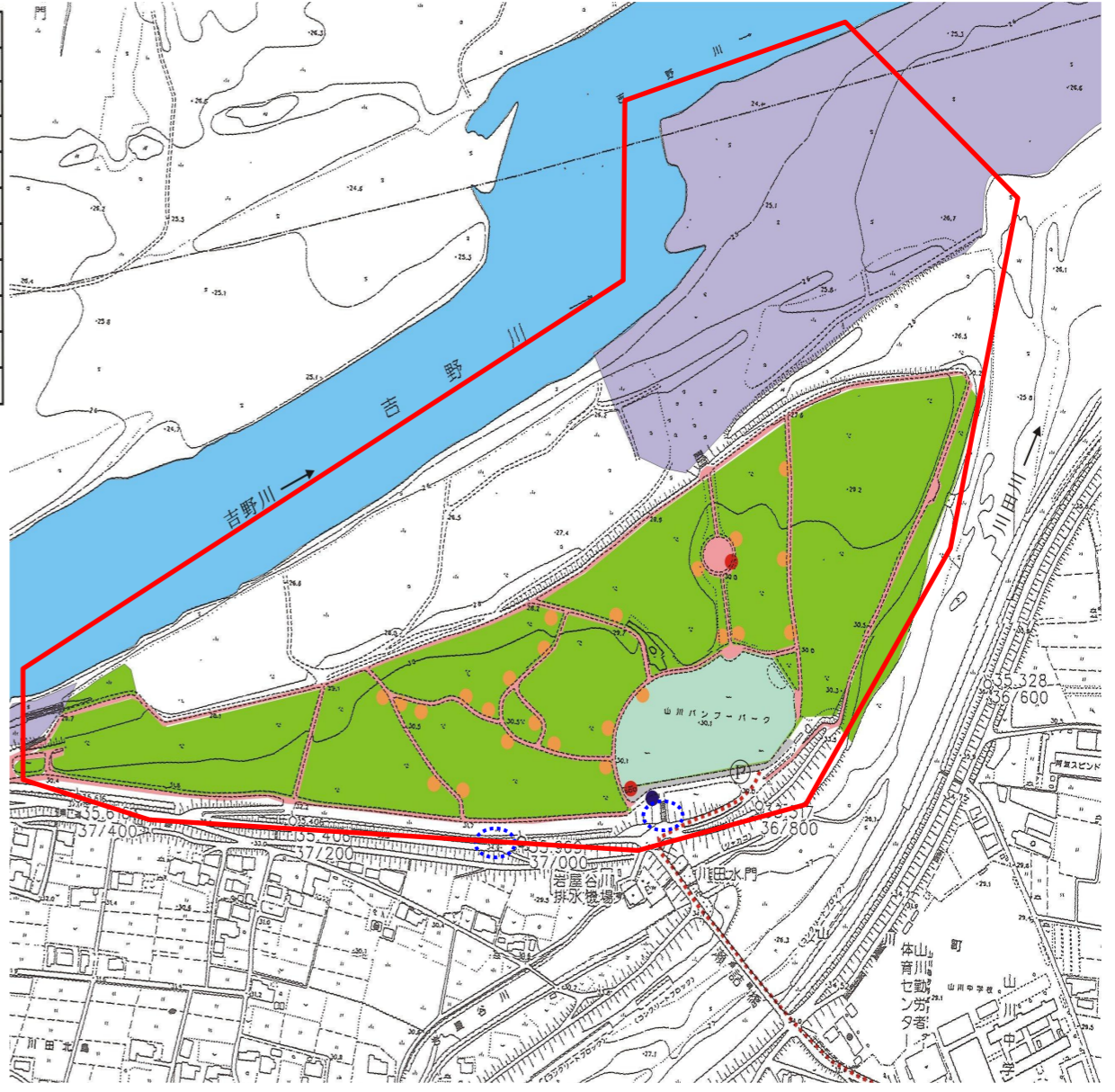
「点検箇所の紹介シート」

地方整備局名	四国地方整備局	事務所名	徳島河川国道事務所
水系名	吉野川水系	河川名	吉野川
箇所名	山川バンフーパーク (水辺の楽校)	所在地	徳島県吉野川市 山川町字前川
施設管理者	吉野川市商工観光課	面積	約80,000m ²
区間延長	1.0km	KP・左右岸	河口より37km付近・右岸
主なアクセス方法	JR徳島線阿波山川駅から徒歩12分、徳島自動車道脇町ICから車で15分		



国土地理院 淡色地図(25000)

凡例	
	広場・公園
	駐車場
	竹林等
	川原
	休憩施設
	トイレ
	標識・案内版
	散策路
	車進入路
	徒歩入口



点検範囲

至県道3号線

・主な利用
サッカー、ゲートボールなどのスポーツ、自然体験イベント、水遊び、散策など
広大な敷地には名前の由来通りに竹林が広がり、自然界の生物や、池に住む水生生物の生態観察もできる。また、幼児向けの遊具もあり、特に週末は子ども連れの親子で賑わっている。

・管理の状況
ゴミは持ち帰りを原則としているためほとんど発生していない。
ゴミの収集は、吉野川市より委託を受けた管理会社が行っている。
また、町内の婦人会、建設組合の婦人部、老人会など多くのボランティアにより多目的広場周辺の除草活動が行われている。
堤防は国土交通省が年2回除草を行っている。

・山川バンフーパーク(水辺の楽校)の利用状況



平田船

「吉野川今昔」より
川を使った交通、流通の要路となっていた。



「瀬詰渡し」の左岸渡し場跡

江戸時代から、瀬詰大橋ができる昭和41年までは、対岸の阿波市と山川町を船で結ぶ、「瀬詰渡し」や「北島渡し」交通の重要な手段となっていた。



散策路

この付近の竹林は、江戸時代に洪水被害を減らすために植えられ、根の絡んだ竹林は洪水の勢いを弱めたり、流木や土石の田畑への流れ込みを防ぐ役割りを果たしている。



水遊び

トンボをはじめ、水生生物を観察できる人工池や水遊びが出来る池もあり、多くの子どもたちで賑わっている。



ゲートボール

芝生の多目的広場ではゲートボールなどのスポーツにも利用され、地域住民の憩いの場となっている。



サッカー大会

毎年恒例の少年サッカー大会では、県内外のチームが出場し、自然とともにスポーツを楽しんでいる。